

シカゴ自然科学博物館の海藻展示

瀬木紀男

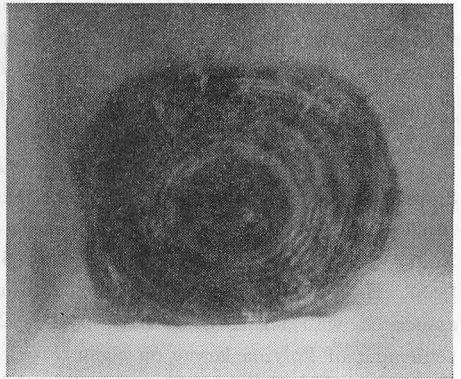
T. SEGI: Exhibition of Seaweeds at Chicago
Natural History Museum

米国に於ける海藻利用としては、日本程盛大に広く利用されることは少なく、僅かに褐藻類(主に *Macrocystis*, *Laminaria*, *Nereocystis*, *Alaria* 等)の Kelp を、アルギン酸製造工業に使用する他余り知られていないようである。然し筆者が先年シカゴ自然科学博物館を訪れた時、可成り興味深い利用に関する展示があったので、SCAGEL 氏の報告等をも参考にして之を御紹介する。左右二箇所の展示があったが、先ず左方から述べる。

I. 左方の展示には日本産白色の Agar-agar を展示している他、*Gigartina*(ガラスの裏に帖付, Carrageenin をつくる。)を真中に展示しているが、この周囲には *Enteromorpha* (食用), *Codium* (食用及び駆虫剤), *Cladophora* (食用及びフィリピン等で稚魚を養うに使い、後日成体になった時は *Enteromorpha* を使うという。), *Penicillus*, *Acetabularia*, *Halimeda*, *Laminaria* (食用), *Herposiphonia* の標本を出している。猶米国では *Gelidium* はカリフォルニアにて10~50feetの処より潜水夫によってとられ、大西洋岸にて *Gracilaria* は網又は熊手によって漂流しているものを採集する。

最下段には第1図の如き黒色の化石藻類 Fossil Algae (Cryptozone) を展示し次の如き説明をつけている。

One of the oldest plant fossils,
generally conceded to be an alga dating from the geological "Down of Life". Messers of living blue-green algae appear to have served as a



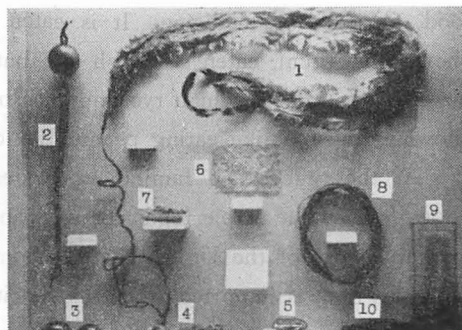
第1図 *Fossil algae*
(シカゴ自然科学博物館にて)

matrix for the description of the mineral composing this fossil.

II. 右方の展示には第2図の如き種々のものが陳列されて興味深かったがこれを順次説明する。

1. Long-jointed Laminaria

とのみ説明しているが、質は薄く黄褐色を呈する。Laminaria は Kelp からアルギン酸をとる他、Alcohol motor fuel (*L. digitata*), Carbohydrate sugars (Mannitol 等)をとる由である。猶 *L. saccharina* は 12~15%の sugar を含有するという。



第2図 各種海藻利用の展示
(各部の説明は文中にあり、シカゴ自然科学博物館にて)

2. Kelp Float (*Pelagophycus porra*) である。P. のもつ大きな浮き袋を浮きとして利用するものである。P. は分布が限られ、且近時減少しつつある由であるが、筆者は La Jolla の海岸にて、打ち揚げを幸い採集することが出来た。

3. Nostoc である。円い固形物になったもので、東洋で食用にされる。

4. Kelp Soda である。Fucus を焼いたもので、アイルランドにて石鹼、ガラスの製造に使われる。

5. Kombu (*Laminaria longissima*) Kyoto, Japan と説明している。小さな和紙の袋に入れ、細くきざんだ所謂青コンブにて、本邦にて食用として用いられるもの。

6. Seaweed glue “Fu Nori, Pres. by T. ITO” と説明している。四角にすいた日本のフノリである。

7. Edible Seaweed (*Rhodymenia*). 食用として用いられるのは衆知のところであるが、先年アイルランドの国際藻類シンポジウムにて、レセプションの時“つまみ”として出されたのは忘れ得ぬ印象である。この海藻について SCAGEL 氏の“Marine plant resources of British Columbia” (1961) p. 26 には興味ある次の報告をしている。

Rhodymenia palmata commonly known as *dulse* or *dillsk*, has been

widely used, especially in Ireland, Scotland, the Maritime Provinces of Canada, and New England. In many parts of the world it is used as a food, a relish or medicine. It is eaten raw, fried, cooked with soups, chewed like gum, eaten with fish and butter, as relish with potatoes, or boiled with milk to which rye flour has been added. According to some, chewing dulse is like eating peanuts: once started it is hard to stop.

At the time when famine was widespread in Ireland, dulse and potatoes formed the staple foods for the people along the coasts. It is used in many parts of the United States. Some is gathered in New England, but most of it is imported from the Maritime Provinces to the market in the United States. Dulse is still gathered and used as a relish by the Indians in the Pacific Northwest or cooked with other foods, including boiled fish. It is also used as a vegetable on the Atlantic Coast where it is called sea kale.

There is a variety of uses of algae that can be recorded in connection with human activities. *Rhodymenia palmata* is used in Kamchatka to prepare a strong alcoholic drink.

8. Seaweed fish line. *Nereocystis* の長い茎を魚釣り用の綱として利用したものである。カナダ太平洋にてインディアンが鱈をとるとのことである。

猶, *Nereocystis* は米国太平洋岸モンテレーペニンシュラ, モスビーチ, ヴァンクーバー等の各地に饒産し, 或物は干潮線附近の岩にまきつき, 或物はうず高く海岸につもり, 又巨大な浮袋だけ出してぶかぶか浮ぶ様は壯観である。長さ 20 m 位に達するものもある。

9. Kelp Stem (*Nereocystis lukeana*) *Nereocystis* の茎の末端部 (浮袋をふくむ) 約 40 cm 位をガラス箱に入れ, シトロン液漬にし食用にされるもので, 次の如く説明している。

Stem ends of the giant kelp of the Pacific Coast as collected for food. It is sometimes converted into a species of citron-like conserve. 又新鮮な stipe から砂糖づけをつくる。

10. Kelp oil Bottle (*Nereocystis lukeana*) インディアンが *Nereocystis* の浮袋のついた茎の末端部を, オイルの貯蔵器又はランプとして利用すること

で次の如き説明を附している。

The Stem end of a giant kelp. It is hollow and is said to be used by the natives of British Columbia and Vancouver as a container for oil.

この他 *Nereocystis* の長い茎は、アルコール飲料を蒸溜するとき“worm condenser”として使い、アラスカのインディアンやエスキモーは、*Nereocystis* から“hoochenoo”と呼ぶ醸造物を作ると報告されている。更にインディアンは海膽(ウニ)を捕える時、餌をつけるために使い、浮きや中空の部分は、ボートから水をサイフォンとして吸わせる時に使う等、興味ある用途がある由である。

(三重県立大学水産学部)

学 会 録 事

会 員 移 動

(昭和38年4月1日より昭和38年8月15日まで)

新 入 会 (10名)

昭和38年8月15日現在会員数 399名

住 所 変 更 (13名)